

# 松下幸之助経営塾

第二十九期 特別講師 [2024年9月開講]



## 佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) ぴあ株式会社 終身相談役

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニックホールディングス株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2001年より、同社代表取締役会長を務め、06年6月より、取締役相談役。社外取締役を経て22年6月より、ぴあ株式会社終身相談役(現任)。



## 田村 潤 (たむら・じゅん) 100年プランニング株式会社 代表取締役

1950年、東京都生まれ。成城大学経済学部卒業。73年、キリンビール株式会社に入社。95年、支店長として高知に赴任した後、四国4県の地区本部長、東海地区本部長を経て、2007年、代表取締役副社長兼営業本部長に就任。全国の営業の指揮を執り、09年、キリンビールのシェアの首位奪回を実現した。11年より100年プランニング代表。同年より、PHPゼミナール「経営道コース」で特別講話を担当し、経営者育成に取り組む。

著書の『キリンビール高知支店の奇跡 勝利の法則は現場で拾え!』(講談社+α新書)はベストセラーとなる。近著で『負けグセ社員たちを「戦う集団」に変えるたった1つの方法』(PHP研究所)、『人生に奇跡を起こす営業のやり方』(PHP新書)がある。



## 坂口 克彦 (さかぐち・かつひこ) ハウステンボス株式会社 会長執行役員 長崎県立大学法人 理事長

1955年、富山県生まれ。79年、新潟大学工学部を卒業後、ユニ・チャーム株式会社に入社。2012年、同社取締役常務執行役員・企画本部長兼グローバル人事総務本部長。14年、退任。同年、エイチ・アイ・エスに入社。19年、同社取締役常務執行役員 CSR 担当、本社人事本部長・最高人事責任者(CHO)兼ハウステンボス株式会社最高人事責任者を経て、同年、ハウステンボス株式会社代表取締役に就任。20年、株式会社エイチ・アイ・エスの取締役を退任。23年からハウステンボス株式会社会長執行役員(現任)。24年から長崎県立大学法人理事長(現任)。



## 戸田 一雄 (とだ・かずお) パナソニックホールディングス株式会社 終身客員

1941年、大阪府生まれ。64年、滋賀大学・経済学部卒業、同年、松下電器産業株式会社(現・パナソニックホールディングス株式会社)に入社。営業第一線を経験の後、70年から、高級音響商品「Technics」の商品企画を16年間担当。本社スタッフ経験の後、88年、電化調理事業部長就任を皮切りに、白物家電、住宅設備機器、音響・映像・情報(AVC)機器 各事業の経営を担当。2003年、代表取締役副社長に就任。国内営業統括、デザイン、ブランド、宣伝、物流を担当する傍ら、中村社長と共にいわゆる「中村改革」を推進。全社重点商品開発、松下電工と松下電器の合併、国内営業流通改革、石油温風器事故対策等、多くの改革を推進した。「全ての改革の原点は、松下幸之助経営哲学の現場実践にあり」の実証者を自認する。06年、副社長を退任。その後ネット通販大手のアスクル株式会社社外取締役に就任し、19年退任。その他外部活動としてユニバーサルデザイン協議会議長、日本・ベトナム ビジネスサポートセンター会長、滋賀大学特任教授、学校法人「文化学院」理事長等を歴任。パナソニックホールディングス株式会社終身客員。



## 十河 孝男 (そごう・たかお) 徳武産業株式会社 代表取締役会長

1947年、香川県生まれ。高校卒業後、66年に香川相互銀行(現・香川銀行)入行。同銀行で6年間働いたのち、縫製メーカーを経て、84年に義父が経営する徳武産業株式会社へ入社。急逝した義父の後を継いで代表取締役社長に就任。89年からルームシューズの本格的な製造を開始。93年に高齢者福祉施設を運営する友人から、高齢者用のケアシューズの開発依頼を受け、高齢者の転倒事故予防のために研究を重ねる。95年、主力商品である高齢者用ケアシューズ「あゆみシューズ」を完成・発売。この製造をメインに成長を続けている(2022年7月、累計2,000万足を達成)。商品に同封したアンケートハガキの年間返却数は2万枚を超え、年間約1千通のサンキューレターが届く。お客様に寄り添い、その声に耳を傾けることで、片足販売や左右サイズ違い販売、パーツオーダーシステムの導入など、業界の常識を覆す取り組みを実践しており、今もケアシューズ市場トップを維持し続けている。15年、代表取締役会長に就任し、現在に至る。

受賞に「四国でいちばん大切にしたい会社大賞『四国経済産業局長賞』(2012年)」、「日本でいちばん大切にしたい会社大賞『審査委員会特別賞』(12年)」、「グッドカンパニー大賞『特別賞』(13年)」、「第3回日本サービス大賞『経済産業大臣賞』(20年)」、「令和3年度 製品安全対策優良企業表彰(PSアワード)『経済産業大臣賞』(21年)」などがある。



## 岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルビン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニックホールディングス株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ四十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですな——松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。

※講師の肩書きは、2024年9月時点のものです